

令和7年度こども未来・安心対策特別委員会県外視察の概要

1 参加委員

岡田 理絵（委員長）、川真田 琢巳（副委員長）、井村 保裕、井下 泰憲、立川 了大、近藤 諭、梶原 一哉

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
令和8年 1月28日（水）	鎌倉市立由比ガ浜中学校（神奈川県鎌倉市）
1月29日（木）	神奈川県庁（神奈川県横浜市）

3 調査目的及び視察概要

（1）鎌倉市立由比ガ浜中学校

（調査目的）

学びの多様化学校は、不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成することができる学校であり、本県では令和9年度の開校を目指している。

令和7年4月に開校した鎌倉市立由比ガ浜中学校は、自分らしく学び、自分らしく成長できる学校をスクールビジョンとして掲げ、総合的学習など体験型学習に重点を置いた独自のカリキュラムを編成している。

これらを踏まえ、学びの多様化学校の設置・運営について調査する。

（視察概要）

学びの多様化学校の設置・運営について説明を受けた後、意見交換を行い、施設を見学しました。



(2) 神奈川県庁

(調査目的)

医療技術の進歩に伴い医療的ケア児が増加し、医療的ケア児の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるようにすることが重要な課題となっていることから、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が令和3年に施行された。

神奈川県では、医療的ケア児（家族支援者等を含む）を支援するため、医療的ケア児支援に関する各課が連携を図り、支援施策を実施している。

これらを踏まえ、医療的ケア児支援施策について調査する。

(視察概要)

医療的ケア児支援施策について説明を受けた後、意見交換を行いました。

